

NHK 文研

BUNKEN Broadcasting Culture Research Institute

フォーラム2016

変貌するメディア、 その先を考える

会場：千代田放送会館（東京都千代田区紀尾井町1-1）

3/1 [火]
13:30

- A** シンポジウム OTTはメディア産業をどう変えるか
- B** 報告 文研調査で探る現在の動画利用者像
研究発表 「これからのテレビ」はどこに向かうのか？

3/2 [水]
10:00

- C** ワークショップ 「放送100年史」を構想する
- D** 研究発表 新・NHKアクセント辞典 ポイント解説！
- E** 研究発表 迫りくる大規模水害にどう備えるのか？

3/3 [木]
13:30

- F** 研究発表 2015年国民生活時間調査 報告
「時間」からみる日本人の生活
- G** シンポジウム 東日本大震災から5年
“伝えて活かす”震災アーカイブのこれから

文研HPにて2月2日(火)より申し込み受付(参加無料)

<http://www.nhk.or.jp/bunken/forum>



先着順で定員に達したプログラムより募集を締め切ります。

主催：NHK 放送文化研究所



3/1 [火]

A シンポジウム 13:30~15:45
OTTはメディア産業をどう変えるか ~欧米最新事情、そして「グローバル戦略」について考える~

インターネットで番組やコンテンツを配信するOTT(オーバー・ザ・トップ)サービスの普及で、アメリカでは“放送”のあり方が大きく変わりつつあります。欧米の放送事業者などを招き、グローバル戦略、放送への影響などについて議論します。

パネリスト: デビッド・ウィーランド(BBCワールドワイド上級副社長) / ジェームズ・ファレル(アマゾンジャパン デジタル映像事業本部長) / 西田宗千佳(ITジャーナリスト) 報告: 山田賢一(NHK放送文化研究所 副部長) / 田中孝宜(NHK放送文化研究所 上級研究員)
報告・司会: 柴田厚(NHK放送文化研究所 上級研究員)

B 報告・研究発表 16:00~17:40
【報告】文研調査で探る現在の動画利用者像

文研がこの1年に行った世論調査やWEB調査などから、「いま」の動画利用実態に迫ります。

報告: 塚本恭子(NHK放送文化研究所 研究員)

【研究発表】「これからのテレビ」はどこに向かうのか? ~2030年を見据えて~

伝送路、端末、サービス、視聴行動等のシームレス化が進む今、放送をとりまく制度やテレビのビジネスモデルは大きな転換期を迎えています。東京オリンピックのその先を見据えたテレビ・放送のあり方を考えます。

ゲスト: 吉田真人(総務省大臣官房審議官(放送行政担当)) 報告・聞き手: 村上圭子(NHK放送文化研究所 主任研究員)

3/2 [水]

C ワークショップ 10:00~12:10 (会議室での少人数開催)
まだ先? 既に準備期間? 「放送100年史」を構想する

2025年は放送開始から100年。放送番組とその作り手、受け手、更にはその前提となった技術、制度…。様々な領域の「100年」を念頭に、NHK、民放の垣根を越えた「放送100年史」の構想を語り合います。

問題提起: 松山秀明(東京大学大学院情報学環特任助教) コメントーター: 村橋勝子(社史研究家) / 丹羽美之(東京大学大学院情報学環准教授) 司会: 宮田章(NHK放送文化研究所 上級研究員)

D 研究発表 13:30~15:30
新・NHKアクセント辞典 ポイント解説! ~改訂から見える“放送のことば”~

ちかぢか発行となる『NHK日本語発音アクセント新辞典』。前の辞典と何が違うの?アクセントを変更した語は? どうして変えるの?—そんな疑問にこたえるプログラムです。

コメントーター: 梅津正樹(元NHKアナウンサー、獨協大学非常勤講師) / 秀島史香(ラジオパーソナリティ、ナレーター)
報告: 塩田雄大(NHK放送文化研究所 主任研究員) 司会: 中尾晃一郎(NHK放送文化研究所 副部長)

E 研究発表 15:50~17:50
迫りくる大規模水害にどう備えるのか? ~「関東・東北豪雨」に見る緊急時情報伝達と避難をめぐる課題~

昨年9月の「関東・東北豪雨」では鬼怒川が決壊。約4,000人が救出される事態となりました。災害発生の危機を知らせる情報はどこで伝えられたのか。将来の大規模水害を見据え、災害情報・減災報道のあり方を考えます。

コメントーター: 田中 淳(東京大学 総合防災情報研究センター長) / 辻村和人(NHK報道局 災害・気象センター長)
報告: 福長秀彦(NHK放送文化研究所 研究主幹) / 入江さやか(NHK放送文化研究所 上級研究員)

3/3 [木]

F 研究発表 13:30~15:30
「時間」からみる日本人の生活 ~2015年国民生活時間調査報告とトークセッション~

最新の生活時間調査の結果がまとまりました。長年のデータから「時間」を切り口に、日本人の生活の変化を探ります。トークセッションでは、時の研究家・織田一郎さんが日本人と時間の知られざる関係について語ります。

ゲスト: 織田一郎(時の研究家・日本時間学会理事) 報告: 関根智江(NHK放送文化研究所 研究員) / 林田将来(NHK放送文化研究所 研究員) 聞き手: 滝島雅子(NHK放送文化研究所 主任研究員)

G シンポジウム 15:50~17:50
東日本大震災から5年 “伝えて活かす” 震災アーカイブのこれから

未曾有の大災害を記録し教訓を伝えようと多様なデジタルアーカイブが生まれました。震災から5年、アーカイブは今どのように活用されているのでしょうか。その可能性と課題は?震災アーカイブの「これから」を考えます。

パネリスト: 今村文彦(東北大学災害科学国際研究所所長) / 小野史典(多賀城市総務部地域コミュニティ課長) / 諏訪康子(国立国会図書館電子情報部主任司書) / 渡邊英徳(首都大学東京システムデザイン学部准教授) / 倉又俊夫(NHK知財センター チーフ・プロデューサー)
コメントーター: 吉見俊哉(東京大学大学院情報学環教授) 報告・司会: 山口 勝(NHK放送文化研究所 主任研究員)